

『非住宅木造の構造設計講座』のご案内

2014年10月吉日

株式会社 構造システム

平成22年に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」をきっかけに、近年、非住宅木造のニーズが高まっております。しかし、設計手法が一般化されていないなどの問題があり、十分に普及しておりません。また、設計のノウハウを学ぶ機会が少ないという声もいただいております。これらを背景に『非住宅木造の構造設計講座』(全5回)を企画いたしました。

この講座は、保育園や店舗などの非住宅木造の構造設計に興味のある方を対象に、実務設計を学習する内容となります。お忙しい時期とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

- **会場:** 構造システム セミナールーム 住所: 東京都文京区関口2-3-3 目白坂 STビル6階
アクセス: 東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅 1a出口より徒歩4分
- **定員:** 各回12名 ※1回ずつお申込、および、受講できます。
- **費用:** 各回5,000円(税込) ※事前振込 全5回を一括でお申込の場合は 20,000円(税込、5千円お得です)
- **日程とテーマ(時間はいずれも13:30~17:00)** 講師: 實成康治 氏 (株式会社タツミ 構造設計課)
 - **第1回 10月29日(水曜日)**
 - I-a 非住宅木造の構造設計概論・・・実務における非住宅木造の構造設計と本講座の概論
 - I-b 木造を計画する際に注意する法規・・・木造ならではの法規制をピックアップして説明
 - **第2回 11月12日(水曜日)**
 - II-a 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」について・・・「通称:グレー本」のポイントをピックアップ
 - II-b 「木質構造設計規準・同解説」について・・・部材の断面算定の部分を中心に説明
 - **第3回 11月26日(水曜日)**
 - III-a 木造特有の設計条件・・・コストを抑えるポイント、木材業界の現状と木材の規格について説明
 - III-b 非住宅木造の構造計画とモデル設計の計画・・・スパン12mのトラスを有す遊戯室の実例等
 - **第4回 12月10日(水曜日)**
 - IV-a 木造の耐力要素のディテール・・・木造の耐震要素、水平構面、接合部の説明
 - IV-b テックワン P3 プラス(中規模木造対応接合金物)の技術説明・・・接合金物の性能と運用を説明
 - **第5回 2015年1月21日(水曜日) ※最終回だけノートPCの持参をお願いします(貸出は要相談)**
 - V-a トラス詳細図の作図・・・(株)タツミの接合金物を用いた木造フレームの作図方法について説明
 - V-b FAPとMEDを活用したトラスの解析・・・フレーム解析ソフトと断面算定ソフトを使った設計手法
- **持参を推奨する設計基準書**
 - 木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(日本住宅木材技術センター)
 - 木質構造設計規準・同解説 2006年度版(日本建築学会)
- **お問い合わせ先**
(株)構造システム ☎03-6821-1311(営業本部) E-mail event@kozy.co.jp http://www.kozy.co.jp/



申込FAX番号: **03-5978-6215** (株)構造システム 営業本部 宛

※ご希望の日程に☑を付けてお送りください。折り返し支払方法をお知らせします。

第1回 10/29 (水曜日) 第2回 11/12 (水曜日) 第3回 11/26 (水曜日)

第4回 12/10 (水曜日) 第5回 1/21 (水曜日)

住 所: 〒 _____

会社名: _____ 部署名: _____

氏 名: _____ ※複数でお申込の際は連名で

TEL: _____ FAX: _____

E-Mail: _____ ※今後はこちら案内メールをお届けします